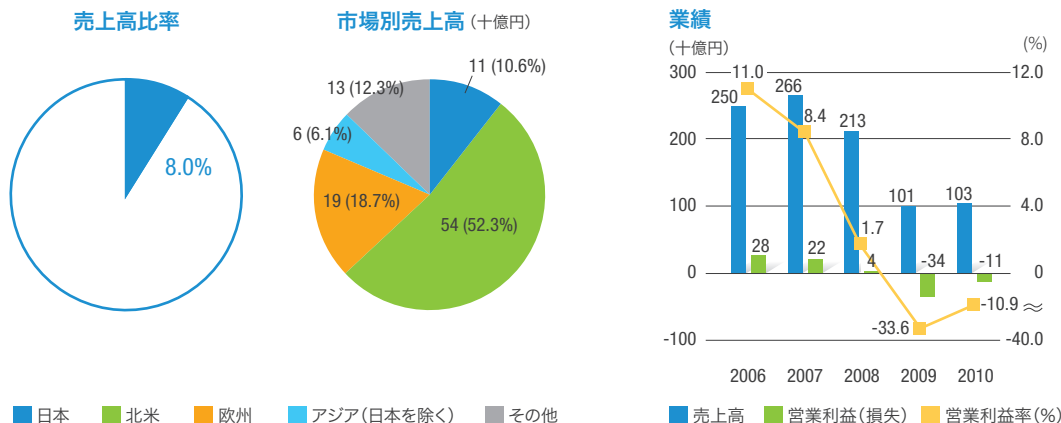


特機事業

2010年度の特機事業の売上高は、前年度比24億円(2.4%)増の1,030億円となり、売上高全体の8.0%を占めました。また、営業損益は同225億円改善し、113億円の営業損失となりました。



ATV・SSV事業 米国での在庫調整が奏功

2010年度のATV(四輪バギー)総需要は、景気回復の遅れから前年度比13.6%減の52.2万台となりました。

景気低迷の影響もあり当社が強みとするスポーツカテゴリーの販売が低迷し、2010年度の当社ATV販売台数は前年度比1.2%減の8.1万台となりましたが、米国では前年の在庫調整が奏功して卸出荷は前年度比19.0%拡大しました。

SSV(サイド・バイ・サイド・ビークル)については、小売の停滞により、2010年度の販売台数は前年度比25%減の0.3万台となりました。以上により、2010年度の当社のATV・

SSV事業の売上高は前年度比1.1%減の453億円となりました。

2011年度のATV総需要は、景気回復の遅れや不安定な為替環境から、前年度比1.3%減の51.5万台となる見通しです。依然景気回復の厳しい状況による小売の停滞を受けるため、2011年度のATV販売台数はほぼ前年度並みの8.2万台、また、SSV販売台数も前年度並みの0.3万台を計画しています。

Raptor 700R



スノーモビル事業 欧州市場での需要の高まり

2010年度のスノーモビルの総需要は、北米市場で景気回復の遅れがあるものの、欧州、ロシア市場での需要の高まりにより、前年度比6.0%増の12.4万台となりました。

当社では、市場在庫削減のための減産の影響を受けたものの、市場の回復もあり、2010年度の販売台数は前年度比22.2%増の2.2万台に、売上高は同13.7%増の158億円となりました。



Apex SE

ゴルフカー事業 アジアを中心に堅調に推移

2010年度のゴルフカーの総需要は、世界的景気低迷により、顧客の投資抑制・価格志向傾向の継続により、前年度比2.2%減の22.5万台となりました。

当社では、需要が伸びている韓国や国内で販売を伸ばしました。その結果、2010年度の販売台数は前年度比5.0%増の4.5万台に、売上高は同2.8%減の190億円となりました。



G30・31 Series

発電機・その他の特機製品 中国での生産体制再編を加速

2010年度の発電機の世界総需要は960万台に達し、2012年度には1,000万台まで拡大するものと見込まれています。2010年度の当社販売台数は前年度比18.3%増の13.6万台となりました。

〈将来成長シナリオ〉の一環として、「将来の有望市場へ多商品展開」を掲げる当社では、中国でのエンジン・発電機の一貫生産体制に着手し、生産体制の再編成の準備を進めています。



EF1600iS